



11月
12月

『欽ドン！良い子悪い子普通の子』

“TVバラエティ”というジャンルを発明した萩本欽一の偉業を再検証する、ファミリー劇場オリジナル番組『燃えよ欽ちゃん』と合わせて放送！

11/12(木)より毎週木曜日放送 21:00～21:10 オリジナル番組『燃えよ欽ちゃん』
21:10～22:50 『欽ドン！良い子悪い子普通の子』

CS放送ファミリー劇場(株式会社ファミリー劇場 東京都港区赤坂4-8-10/代表取締役社長 木田由紀夫)は、11/12(木)より『欽ドン！良い子悪い子普通の子』を、ファミリー劇場オリジナル番組『燃えよ欽ちゃん』と合わせて放送します。

萩本欽一がまさに“視聴率100%男”と言われていた時代の、冠番組『欽ドン！良い子悪い子普通の子』の本編前に、萩本欽一がテレビにいかなる影響を与えてきたか、欽ちゃんの偉業を再検証するオリジナル番組『燃えよ欽ちゃん』を放送。オリジナル番組と一緒にご覧いただくことで、より一層番組をお楽しみ頂ける、ファミリー劇場お馴染みの特別企画です。

『欽ドン！良い子悪い子普通の子』

11/12(木)より毎週(木)21:10-22:50(2話連続放送) [再放送] 翌(金)19:10-20:50(11/20(金)より)



©フジテレビジョン

※#1～#10、「ハイスクールララバイ」がお披露目となる#15・#16を2話連続、6週に渡り放送。

出演:萩本欽一、西山浩司、長江健次、山口良一、中原理恵(1981年初放送)

前身である「欽ちゃんのドンとやってみよう！」同様、視聴者からののがきによるコントのスタジオ公開番組。親子・社会・風俗・文化などを、“良い”“悪い”“普通”の三つひとまとめのコントにして構成、放送当時大ヒットとなった。コント「良い子悪い子普通の子」のコーナーでは、萩本欽一演じるお父さんに対する、良い子のよし夫(山口良一)、悪い子のわる夫(西山浩司)、普通の子のふっ夫(長江健次)の、三者三様のやりとりが笑いを誘う。「良い妻悪い妻普通の妻」のコーナーでは、中原理恵が良い妻・悪い妻・普通の妻を一人三役で演じ、見事なコメディエンヌぶりを披露して好評を博した。また、この番組からは、山口良一、西山浩司、長江健次の三人で結成されたユニット「イモ欽トリオ」が「ハイスクールララバイ」でレコードデビュー、こちらも大ヒットとなった。

ファミリー劇場オリジナル番組『燃えよ欽ちゃん』(全6部・10分番組)

11/12(木)より毎週(木)21:00-21:10 [再放送] 翌(金)19:00-19:10(11/20(金)より)

出演:大谷ノブ彦(ダイノジ)、三宅恵介(「オレたちひょうきん族」ディレクター)、壇蜜

お笑い好きのマスター(ダイノジ・大谷ノブ彦)が経営する喫茶店にバラエティ番組制作一筋の伝説的ディレクター三宅恵介と、お笑い好きの謎の美女・壇蜜がぶらりと立ち寄り、お笑い談に花を咲かす。

コント55号は当時のお笑いの何をドンとぶっ壊したのか? 萩本欽一が作り上げた現在まで影響を与え続けるTVバラエティの基礎の秘密とは? 「ひょうきん族」「THE MANZAI」は何が新しかったのか? ダウンタウンのカリスマ性とは? そしてこれからのバラエティはどこへ向かうのか? この番組は、萩本欽一の伝説や功績を振り返りながら、日本中を夢中にさせた数々のTVバラエティの歴史について語り合う番組です。

【トークテーマ(サブタイトル)】

- ①TVバラエティをドンとぶっ壊したコント55号
- ②アレもコレも全部欽ちゃんから始まった!?
- ③お茶の間向けバラエティから若者向けバラエティへ
- ④欽ちゃんが作ったドキュメントの笑いがさらに進化
- ⑤20世紀最後のカリスマ芸人登場
- ⑥これからのバラエティもドンとやってみよう!

【出演者コメント】

三宅:「大将はテレビにおいてもすごい戦略家でした。」
大谷:「こんな人がテレビ黎明期の一番最初のスターになるって凄すぎる!」
壇蜜:「(素人いじりって)こっちが頑張らせて応援したくなりますよね。」



©東北新社

特設サイト: <http://www.fami-geki.com/kindon/>

【ファミリー劇場】国内ドラマ、特撮、アニメ、バラエティまで、あらゆるジャンルから人気番組を厳選して24時間お届けしているCSチャンネルです。あらゆる世代の「あなたのこれが見たい!」を満足させる、家族みんなが楽しめるエンターテインメントチャンネルです。全国のケーブルテレビ局、スカパー!(293ch)、スカパー!プレミアムサービス(660ch)、ブロードバンドTVでご覧いただけます。現在約792万世帯で視聴可能です。

■読者お問い合わせ先■

ファミリー劇場<http://www.fami-geki.com> カスタマーセンターTEL:045-330-2177(受付時間:平日9:30～18:30 ※祝日除く)

■本リリースに関するお問い合わせ先■(株)東北新社 放送本部 プロモーション部 担当:久保[m-kubo@tfc.co.jp]

〒107-8460 東京都港区赤坂4-8-10 TEL:03-5414-0305 FAX:03-5414-0433